



財務省要請



10月29日 火



要望書を渡す笹倉 全大教中央執行委員長⑥

運営費交付金の拡充、 人件費増や物価高への予算措置、 授業料無償化・奨学金充実を要望



全大教中央執行委員会は10月29日、財務省へ要望を行い、運営費交付金の拡充、人件費増や物価高への対応、授業料の無償化・奨学金の充実を要望しました。

大学運営に必要な経費は年々増加

国立大学の法人化以降、教育研究の高度化や役割の多様化などにより大学運営に必要な経費は年々増加しています。一方で、運営費交付金は減少し、その中でも、共通指標による評価・傾斜配分や各大学のミッションに応じた配分が増えており、基盤的経費が減少・不安定化しています。

各大学では基盤的経費の不足を賄うために外部資金・競争的資金の獲得に努力しているものの、それらは時限・使途限定であることから、長期的視点での教育研究や大学運営に活用することが難しい面があります。また、分野による資金獲得の条件の違いもあります。

その結果、人員の削減や任期付き雇用の増加、資金獲得それ自体の目的化、資金獲得のための申請書作成に占められて研究時間が減少、インパクトの高い論文

の減少、研究者を志す学生の減少といった状況を招いています。

物価高・人件費増への対応は喫緊の課題

加えて、電力料金や研究資料の高騰といった物価高への対応、人事院勧告の上昇をふまえた人件費増への対応は喫緊の課題となっており、各大学では予算の見直し等の努力を行ってもなお財政的に厳しい状況にあります。

また、ここへきて国立大学の授業料の引上げの動きが生じていますが、その主な要因は運営費交付金の減少による大学財政の厳しさによるものです。

全大教から、こうした大学現場の状況を伝え、運営費交付金の増額と基盤的経費を十分に措置した上でプラスアルファを行う配分の在り方を要望しました。

(書記長 永井信)

※要望書は全大教ホームページよりダウンロードしてご確認ください



短縮URL
<https://00min/NqTHX>

国民のいのちと健康を守るため、 すべてのケア労働者の賃上げや人員配置増を求める

■厚生労働省要請

厚生労働省(厚労省)にて、厚生労働大臣宛に保険局長へ「ケア労働者の賃上げや人員配置増を求める要請書」を提出し、十分ではない賃上げや人

員不足の状況を伝えるとともに今後の医療・福祉政策について意見交換を行いました。厚労省としても医療福祉にかかわるケア労働者人口が多くあることから賃上げの必

要性は認識しており、診療報酬等で可能な範囲で対応をしているとの回答でした。また人員不足についても、労働環境の厳しさに加え業務に比して低賃金であると訴え、ケア労働者が現場から離職する、あるいは目指す人が減少していることを伝えました。賃上げ・人員配置増をとの要請に対して、保険局長からは、今後関係省庁と協議の上、検討していきたいとの回答を得ました。これからの待遇改善、人員増に期待する厚生労働省要請となりました。

■国会議員要請

参議院議員会館で行われた意思統一集会では、全大教、自治労連、医労連から報告があり、この間の情勢と課題について共有されました。また、多くの国会議員が参加していただき、賛同と激励の挨拶がありました。集会後、衆参すべての国会議員に対して、現場の医療者が生の声を届け、安全・安心な医療の実現とケア労働者の賃上げや人員配置増を要望しました。

(病院協議会議長 長谷川信)



医療や介護体制への影響、
教育・研究にも支障



政府のケア労働者賃上げ策は目標には届かず
すべてのケア労働者の処遇改善につながる追加支援策を！
2024年11月1日 全大教、自治労連、日本医労連(医療三単産共同会議)



現場の医療者が
生の声を届けました



■記者会見

厚生労働省要請の後、国の責任ですべてのケア労働者の待遇改善を求める記者会見を厚生労働記者会会室にて行いました。現場で働く医療者として「賃金水準が低い状況では離職が増え、新規就労者が減少することにより、医療機関や介護施設など縮小せざるを得なくなり、その結果、医療や介護体制への影響が懸念される状況である」ことを訴え、大学病院も多分に漏れず、医療体制への影響に加え、教育、研究にも支障が生じかねないことを訴えました。

全大教新聞

2024年12月10日
第426号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
(略称・全大教)



【PDF版(全面カラー)】
http://zendaikyo.or.jp/?page_id=107
【電話】03-6802-4250
【HP】<http://zendaikyo.or.jp/>
【所在地】〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル2階

* 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います(一部30円)

今月の紙面

- 2024年、秋・冬季合同地区別単組代表者会議(11月10日・16日・17日)開催報告
・「苦境の中でも組合活動の継承を」
・愛媛大学
・「秋の夜市! 成功! 盛況! 賑わい創出!」
・宮崎大学
・「声を届け、声を聴く」を続けて
- 論壇「鳥羽商船高等専門学校の新練習船、
「4代目鳥羽丸」が春竣工予定」
鳥羽商船高等専門学校商船学科教授
窪田 祥朗
- 職場のQ&A「労働組合」の意義

- 単組からのレポート
・和歌山大学
・「苦境の中でも組合活動の継承を」
・愛媛大学
・「秋の夜市! 成功! 盛況! 賑わい創出!」
・宮崎大学
・「声を届け、声を聴く」を続けて